

# 第61期 事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで



Sun Messe

サンメッセ株式会社

## 平成18年度会社方針

### 積極姿勢で「飛躍の年」

平成17年度は、会社方針「心・技・体の充実で一流を目指そう!」のもと、新規機械を導入し、営業努力により新しい契約も獲得できました。そして、さらに生産設備増強のため、平成18年度は、本社工場の増築にも着手しております。

サンメッセは、現場主義の徹底を図ります。現在は、ITの発達によりお客様と顔を合わせる機会が少なくなってきました。しかしお客様と本当の信頼関係を築くためには顔を合わせ、話し合うことが必要です。さらなる深耕営業により、「サンメッセで仕事をしてもらって良かった。」と言われるお客様を増やしていきます。そして製造現場では、ムダをとり、現場主義で生産性の向上を図ります。

そこで、平成18年度の会社方針は、『積極姿勢で「飛躍の年」』としました。

サンメッセは、コンプライアンス（法令順守）はもちろん、不正が起きない、出来ない組織づくりをしていきます。業績向上の風に乗れ、『積極姿勢で「飛躍の年」』にしていきます。

お客様のお役に立ち、株主の皆さんに喜んでいただき、社員が豊かになる、そして社会の役に立つ、それがサンメッセの使命と考えています。

## CONTENTS

株主の皆様へ	2	Sun Messe News	11
営業の概況	3	株式の情報	13
製品部門別の概況	5	会社の概況	14
業績の推移	7	株主メモ	14
財務の状況			
貸借対照表	9		
損益計算書	10		
利益処分	10		

## Message

### 株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。第61期の事業報告書をお届けするにあたり、株主の皆様の平素のご支援に対し、心からお礼申し上げます。

当社は平成18年3月31日をもって、第61期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに当期の営業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成18年6月

代表取締役会長

田中良孝

代表取締役社長

田中勝英

## 営業の経過および成果

当期におけるわが国経済は、原油価格の高騰、素材関係の価格上昇などの懸念材料はありましたが、企業収益の回復や設備投資の増加などにより、景気は踊り場を脱却し、回復基調で推移しました。また、雇用環境の改善や、愛知万博「愛・地球博」の成功などの効果もあり、個人消費の持ち直しもみられるようになり、株価も上昇しました。

印刷業界におきましては、景気回復基調にもかかわらず、熾烈な競争・競合により厳しい状況が続きました。また、個人情報保護法の施行による個人情報の厳格な管理の必要性や、原材料高などコストの上昇要因もあり、利益の確保が容易でない経営環境にありました。

当社は、このような情勢のなかで、「心・技・体の充実で一流を目指そう！」を会社の年度方針として、法令順守・技術力向上・現場重視の事業展開を図りました。10月に三重県地域への業務拡大および深耕営業のため、三重支店を三重県桑名市に開設しました。また、個人情報につきましても、より充実した管理体制を整備しました。製造部門におきましては、12月にオフセット輪転印刷機を増設し生産能力を強化するとともに、外注比率を低下させるため内製（自社製造）化比率アップを図りました。

売上の部門別では、当社の主力分野である一般商業

印刷物は、マルチメディア関連製品、プリペイドカードなどは前期を下回りましたが、カタログ・ダイレクトメール、折込広告などが前期を上回ったため、104億91百万円（前期比102.4%）と増収となりました。出版印刷物は、25億12百万円（前期比100.5%）と前期とほぼ同一水準を維持しました。

利益面におきましては、製造面での合理化・省力化と内製化の推進により売上総利益率が前期と比べて上昇し、売上高も前期比で増収となったため売上総利益が増益となり、販売費及び一般管理費の増加も吸収でき、経常利益は増益となりました。前期においては財務体質の早期健全化を図るため「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用したため当期純損失を計上しておりますので、当期純利益は大幅な増益となりました。

以上の結果、売上高は142億13百万円と前期に比べて1.9%の増収となり、利益面におきましては、経常利益は7億94百万円と前期に比べて28.8%の増益となり、当期純利益は5億8百万円となり、前期と比べて13億5百万円の増益となりました。

## 会社に対処すべき課題

今後のわが国の経済情勢につきましては、さらなる企業業績の改善が、雇用・所得環境の改善を通じて徐々に家計部門に波及してゆくと期待されます。

印刷業界におきましては、原油価格の上昇による原材料の値上り懸念のあるなかで、より効率的な生産体制の整備が必要であると思われまます。

当社といたしましては、新年度の会社方針、『積極姿勢で「飛躍の年」』のもとに、積極経営・現場主義の徹底・コミュニケーションの確立で事業展開を図りたいと考えております。また、内部統制システムの構築およびその充実にも取り組んでいきます。

今期は7月に滋賀県彦根市に「滋賀支店」を開設し、業務拡大および深耕営業に努めます。また、生産能力の増強を図るため本社工場に第5工場を建設し、オフセット輪転印刷機2台を導入いたします。

株主の皆様におかれましても、今後ともなお一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

売上高 142億13百万円(前期比 1.9%増)  
 経常利益 7億94百万円(前期比 28.8%増)  
 当期純利益 5億 8百万円(前期比 - )

## 資金調達の状況

当期においては、資金の調達は行いませんでした。逆に、短期借入金を2億50百万円および長期借入金を2億円返済いたしました。

## 設備投資の状況

当期における設備投資の総額は、5億59百万円であり、合理化・省力化を目的とした機械装置の購入のため5億26百万円、車両購入その他に33百万円を投資いたしました。



お客様のご要望にトータルでお応えし、“感動”を提供いたします。

### 商業印刷

第61期	第60期
売上高 10,491百万円	売上高 10,250百万円
構成比 73.8%	構成比 73.5%

商業印刷物は、企業収益の改善を受け販売促進活動が活発となり、需要の拡大が見られ始めました。このようななかで当社は、新規顧客の開拓、既顧客への深耕営業を積極的に行いました。その結果、主力製品のカタログ・ダイレクトメール、折込広告、定期刊行物等全般的に増加し、売上高は前期を上回りました。



### 出版印刷

第61期	第60期
売上高 2,512百万円	売上高 2,501百万円
構成比 17.7%	構成比 17.9%



出版印刷物は、インターネット等の普及により、雑誌、書籍等の出版市場は依然として低迷し、引き続き厳しい状況が続きました。このようななかで当社は、お客様の要望に応えるよう積極的な営業展開を行い受注獲得に努めました。その結果、中間期まで減少していた頁物・出版物が増加に転じ、売上高は前期を上回りました。

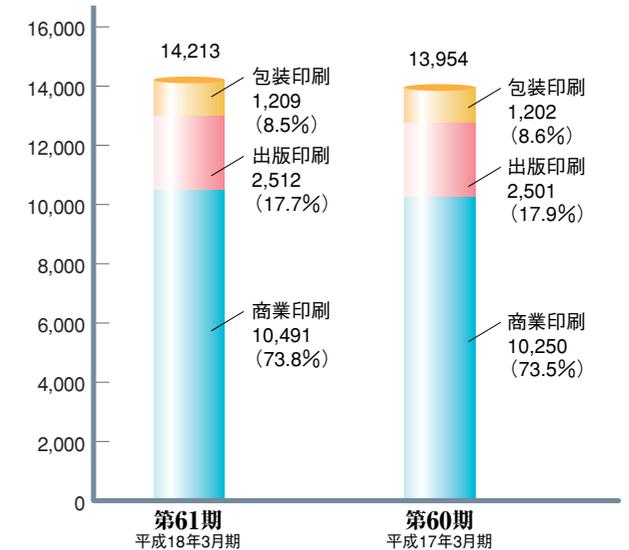
### 包装印刷

第61期	第60期
売上高 1,209百万円	売上高 1,202百万円
構成比 8.5%	構成比 8.6%

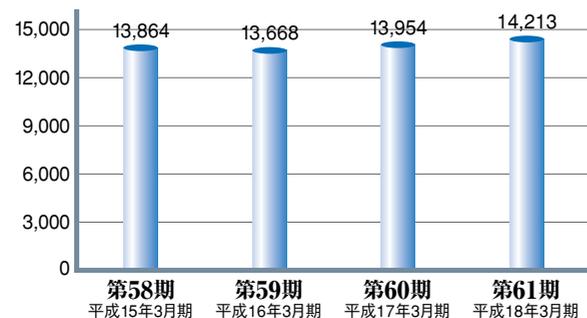
包装印刷物は、個人消費の回復が見られるものの、環境問題意識の高まりによる省包装、軽量化や消費者ニーズに対応して多品種少量化が進み、市場全体が縮小しております。このようななかで当社は、積極的に製品の受注拡大に努め、包装紙・袋物は減少しましたが、パッケージが増加し、売上高は前期を上回りました。



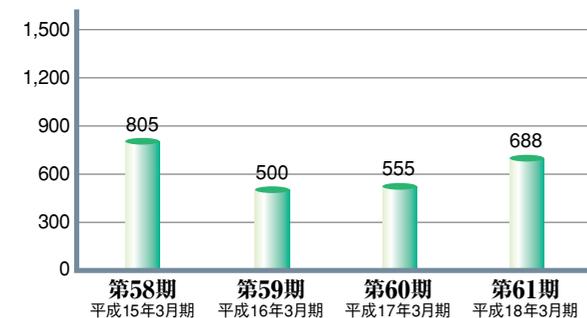
製品部門別売上高・構成比 (単位/百万円)



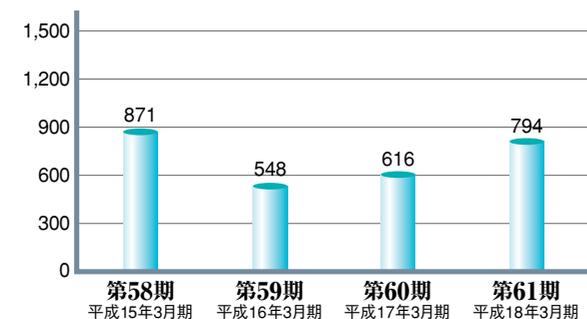
① 売上高 (単位/百万円)



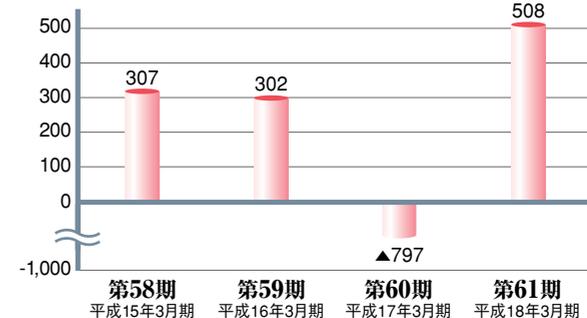
② 営業利益 (単位/百万円)



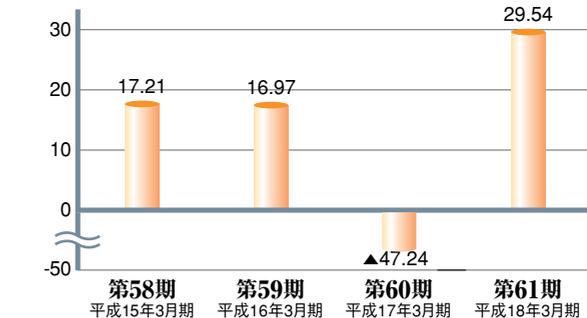
③ 経常利益 (単位/百万円)



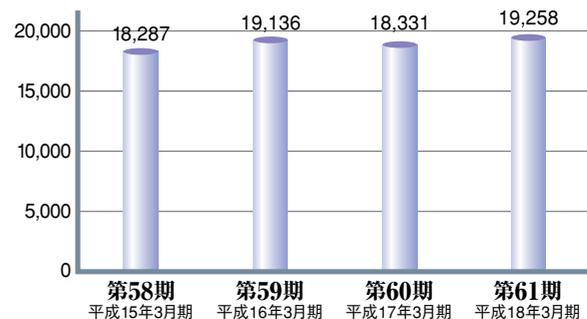
④ 当期純利益 (単位/百万円)



⑤ 1株当たり当期純利益\* (単位/円)



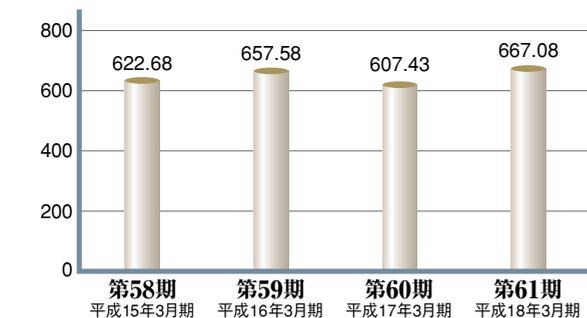
⑥ 総資産 (単位/百万円)



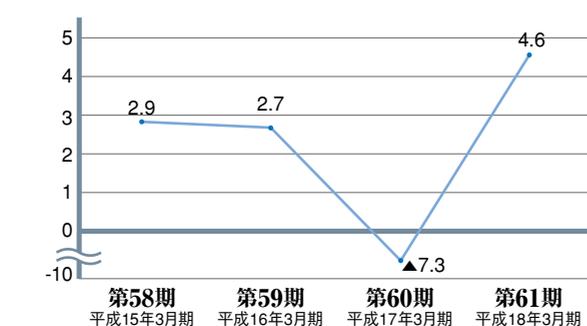
⑦ 株主資本 (単位/百万円)



⑧ 1株当たり株主資本\* (単位/円)



⑨ 株主資本利益率 ROE (単位/%)



用語説明

- ① 売上高**  
会社が製品、サービスなどを販売・提供し、得られた営業上の収益。
- ② 営業利益**  
会社本来の事業活動から得られた利益で、収益実態を見るうえで最も基本的な数値。売上高から売上原価、販売費、一般管理費を差し引いたもの。
- ③ 経常利益**  
営業利益から営業外の損益を加減した利益で、経営成績を最もよく反映する利益として重視される。

**④ 当期純利益**  
税引前利益から法人税・住民税等を控除した最終利益。純利益、税引後利益、最終利益とも呼ばれる。

**⑤ 1株当たり当期純利益**  
1株当たりで換算して会社がどれだけ利益を上げたかをみる指標。

**⑥ 総資産**  
貸借対照表の「資産の部」を合計した数値。会社が所有している財産、権利などの価値の総量を企業会計というものさしで計ったもので、企業の大きさを表す一般的な指標。

**⑦ 株主資本**  
貸借対照表の「資本の部」を合計した数値。会社が株式市場などで株主から調達した資本と、会社が過去から蓄積してきた利益で構成される。自己資本、純資産とも呼ばれる。

**⑧ 1株当たり株主資本**  
株主資本の1株当たりの持ち分を表す指標。数値が高いほど一般的によりとされる。

**⑨ 株主資本利益率**  
株主の出資分である株主資本に対してどれだけ利益を上げていくかをみる収益性の指標。この数値が高まれば株価を押し上げる要因となります。

※平成17年11月18日付をもって1株を2株に分割しておりますので、「1株当たり当期純利益」及び「1株当たり株主資本」は、株式分割による調整を反映させたものとなっております。

## 貸借対照表

科目	第61期	第60期
	(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>6,409,994</b>	<b>6,056,903</b>
現金及び預金	1,428,850	1,635,961
受取手形	1,195,781	1,014,591
売掛金	2,941,672	2,586,425
たな卸資産	587,694	596,777
繰延税金資産	232,000	230,000
その他	67,675	60,515
貸倒引当金	△ 43,680	△ 67,369
<b>固定資産</b>	<b>12,848,737</b>	<b>12,274,428</b>
有形固定資産	8,806,768	9,030,400
建物	2,245,609	2,395,576
機械及び装置	2,534,666	2,548,386
土地	3,846,332	3,874,610
その他	180,160	211,827
無形固定資産	58,251	49,582
投資その他の資産	3,983,717	3,194,445
投資有価証券	3,766,053	2,684,702
繰延税金資産	—	287,000
その他	310,322	438,008
貸倒引当金	△ 92,658	△ 215,266
<b>資産合計</b>	<b>19,258,732</b>	<b>18,331,332</b>

(単位/千円)

科目	第61期	第60期
	(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>5,930,514</b>	<b>5,714,241</b>
支払手形	368,050	609,136
買掛金	1,385,434	1,375,178
短期借入金	1,710,000	1,960,000
一年内償還社債	600,000	—
一年内返済長期借入金	—	250,000
未払法人税等	294,000	235,000
賞与引当金	400,000	391,000
その他	1,173,030	893,925
<b>固定負債</b>	<b>1,852,352</b>	<b>2,158,022</b>
社債	—	600,000
退職給付引当金	1,513,728	1,324,589
役員退職慰労引当金	229,770	218,054
その他	108,854	15,379
<b>負債合計</b>	<b>7,782,866</b>	<b>7,872,264</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,236,114</b>	<b>1,236,114</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,049,534</b>	<b>1,049,534</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>8,345,748</b>	<b>7,957,736</b>
<b>株式等評価差額金</b>	<b>1,249,456</b>	<b>626,639</b>
<b>自己株式</b>	<b>△ 404,989</b>	<b>△ 410,957</b>
<b>資本合計</b>	<b>11,475,865</b>	<b>10,459,067</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>19,258,732</b>	<b>18,331,332</b>

## 損益計算書

(単位/千円)

科目	第61期	第60期
	(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)	(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)
<b>経常損益の部</b>		
<b>営業損益の部</b>		
売上高	14,213,864	13,954,776
売上原価	11,000,698	10,930,089
販売費及び一般管理費	2,524,337	2,468,760
<b>営業利益</b>	<b>688,827</b>	<b>555,926</b>
<b>営業外損益の部</b>		
営業外収益	164,610	132,954
受取利息及び配当金	41,170	29,086
その他	123,440	103,868
営業外費用	59,402	72,567
支払利息	29,820	34,362
その他	29,581	38,204
<b>経常利益</b>	<b>794,036</b>	<b>616,314</b>
<b>特別損益の部</b>		
特別利益	115,637	92,887
固定資産売却益	—	2,571
投資有価証券売却償還益	103,677	82,459
その他	11,959	7,856
<b>特別損失</b>	<b>92,674</b>	<b>1,197,776</b>
固定資産売却廃棄損	43,837	39,688
会員権評価損等	11,487	10,604
減損損失	—	1,116,235
その他	37,349	31,247
<b>税引前当期純利益</b>	<b>816,999</b>	<b>△ 488,574</b>
法人税、住民税及び事業税	385,030	341,586
法人税等調整額	△ 76,077	△ 32,784
<b>当期純利益</b>	<b>508,046</b>	<b>△ 797,376</b>
前期繰越利益	276,305	881,746
中間配当額	51,599	51,582
自己株式処分差損	1,953	—
<b>当期末処分利益</b>	<b>730,799</b>	<b>32,787</b>

## 1.重要な会計方針

- 有価証券の評価基準及び評価方法
  - 時価のあるもの 期末日の市場価格等に基づく時価法
  - 時価のないもの 移動平均法による原価法
- たな卸資産の評価基準及び評価方法
  - 製品及び仕掛品 個別法による原価法
  - 原材料 総平均法による原価法
  - 貯蔵品 最終仕入原価法による原価法
- 固定資産の減価償却の方法
  - 有形固定資産 法人税法に規定する方法と同一の基準による定率法  
平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法
  - 無形固定資産 法人税法に規定する方法と同一の基準による定額法
- 引当金の計上基準
  - 貸倒引当金は、債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。
  - 賞与引当金は、従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額を計上しています。
  - 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、期首において算定した当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しています。
  - 役員退職慰労引当金は、役員退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金内規に基づく期末要支給額を計上しています。
- 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

## 2.貸借対照表関係の注記

(1)有形固定資産の減価償却累計額 10,761,132千円

(2)担保に供している資産  
建物 570,651千円 土地 2,137,391千円

※記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 利益処分

(単位/円)

科目	金額
当期末処分利益	730,799,253
<b>これを次のとおり処分します。</b>	
利益配当金	68,812,336
〔普通配当 1株につき 3円〕 〔記念配当 1株につき 1円〕	
次期繰越利益	661,986,917

(注)平成17年12月12日に51,599,652円(1株につき6円)の中間配当を実施しております。

### ■新工場建設に着手

平成18年5月6日、本社工場敷地内に本社第5工場を建設するため、起工式が行われました。

本社第5工場は、鉄骨3階建て延床面積4,601㎡。1階部分はオフセット輪転印刷機2台を、2階部分をオフセット枚葉印刷機、3階部分を作業スペースとします。印刷受注の増加に対応し、生産能力の増強を図ります。



起工式

### ■新規機械導入(オフ輪)

平成17年12月8日、本社工場に小森コーポレーション社製のB縦半裁両面オフセット輪転印刷機「システム35S」を導入いたしました。当社6台目の輪転印刷機で、近年の折込広告の受注増や定期情報誌の新規受注並びにカタログ印刷などに対応するものであります。この輪転印刷機の主な特徴は、損紙低減システム搭載で大幅な損紙の削減と自動操作による準備時間の短縮で生産性が向上いたしました。また、B4判の二列出しが可能で、機械の回転数を落とすことなく8切折込広告等の1枚出しができるため、製本工程による断裁が不要となり、作業時間が短縮することができます。そのほか最新の省力化装置を備えております。



システム35S

### ■「リコーグループCMS」 認証登録取得

平成17年10月24日、ソニー(株)様の「ソニーグリーンパートナー環境品質認定」に続き、本社工場が(株)リコー様が推進する「リコーグループ化学物質管理システム(CMS)認証制度」における「他社認証登録」を取得しました。「CMS認証制度」とは、環境に負荷を与えない製品の生産活動を行うため、有害な使用禁止物質の不使用を目的に取引先との間で実施している制度であり、同社が定めた基準、もしくは同社が指定した企業の認証をしている企業を資材調達先として認証・登録するものであります。

当社では認証を受けた本社工場だけでなく、他の工場も同様に印刷物や印刷工程における指定環境物質を管理するとともに、指定環境物質を含まない代替製品への変更を積極的に推進していきます。



リコーグループCMS

### ■DTPエキスパート認証試験・11名合格。 合格者総数132名 全国4位

DTP(コンピュータを用いて、レイアウト、版下作業、画像処理、出力処理といった一連の作業を行うこと)環境の充実によって、製版・印刷業以外の多くの方々が、印刷物制作にかかわるようになってきました。しかし、それぞれが持っている知識には大きな違いがあります。DTPの正しい知識を持ち、よい印刷物の実現に向けて、制作環境やコミュニケーションづくりをはかっていくことがDTPエキスパートの役割です。

当社では、5回目の企業受験である第24期DTPエキスパート認証試験で11名が合格しました。これにより、当社では合格者総数が132名となり、全国で4位となりました。

今後は、認証取得者をさらに増やすとともに、認証取得を通じて得た知識を生かし、自主的に行動できる人材を増やしていきます。

※DTPエキスパート認証制度とは、JAGAT(社団法人日本印刷技術協会)が主催する制度で、Desk Top Prepressエキスパートの略です。

### ■環境キャラクター「ハッピー」、品質キャラクター「ラヴィー」

サンメッセでは、社員の環境への意識を高めるために、環境保全活動推進のためのキャラクター「ハッピー」を使用しています。今後は、当社が環境保全に対して積極姿勢で取り組んでいることを皆様にご覧いただくために、環境キャラクターのみならず、会社のキャラクターとしても広く使用していくことにいたしました。また、品質キャラクターとして、「ラヴィー」も誕生し、「ハッピー」同様、広く社外にも使用していきます。

★「ハッピー」という名前は、自然を象徴する木の「葉」と「ハッピー(happy)=幸せ」の2つの言葉から名付けました。私達が取り組むこの環境保全活動が人類の幸せにつながるように、そんな願いが込められています。

★「ラヴィー」という名前は、会社を愛し、お客様を愛して、良い製品、安定した製品を提供する、そんな願いが込められています。



ハッピー

ラヴィー



創刊30周年パーティ

### ■「月刊タウン情報ぎふ」 創刊30周年

「タウン情報ぎふ」は、平成17年11月号で創刊30周年を迎えました。岐阜の街とともに歩んできた30年間、「タウン情報ぎふ」が目指したものは岐阜の生活者のための“生活情報辞典”であり、読者のための“情報告知板”で、創刊当初からのその思いは今も変わりません。

岐阜のタウン誌として、人と人、人と街を繋ぐパイプ役となり、岐阜で生活する人が1ヵ月間楽しく、心豊かに暮らしていただくために豊富な情報を提供し、そして街が活気づく、それが「タウン情報ぎふ」が果たしてきた役割です。今後も、岐阜を愛し、愛される街となるよう、内容を充実させて参ります。



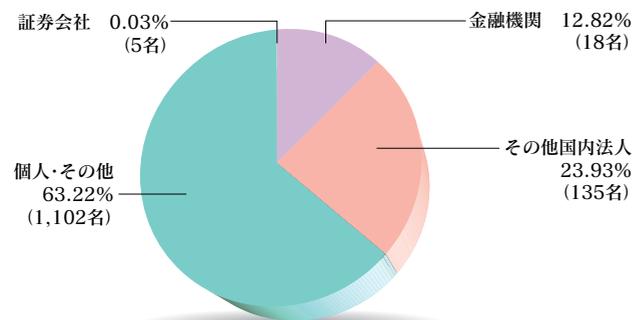
株式の状況 (平成18年3月31日現在)

- ①会社が発行する株式の総数 60,000,000株
- ②発行済株式の総数 17,825,050株
- ③株主数 1,260名

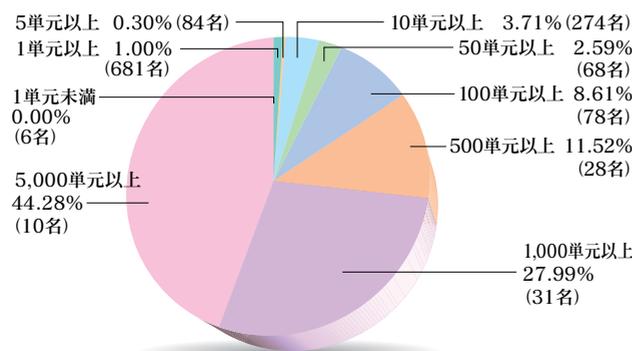
(注)平成17年11月18日付をもって1株を2株に分割し、会社が発行する株式の総数は30,000,000株、発行済株式の総数は8,912,525株増加しております。

株式分布状況

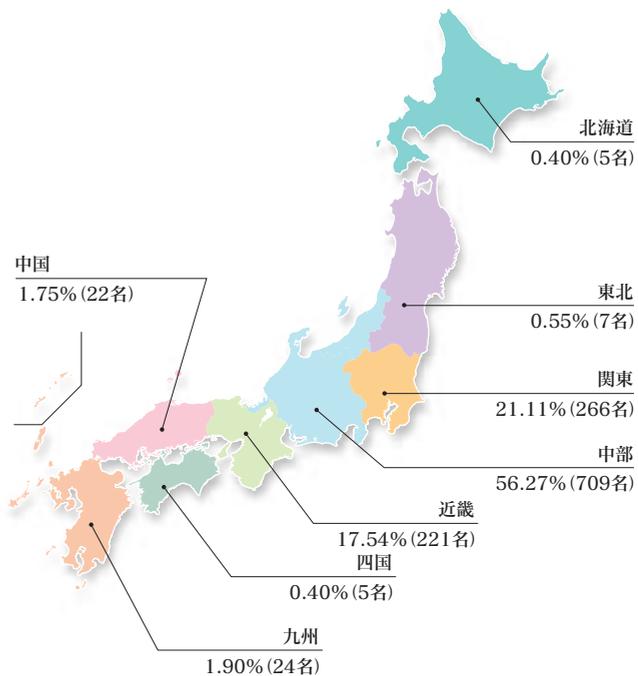
所有者別株式分布状況 (株式数比率)



所有数別株式分布状況 (株式数比率)

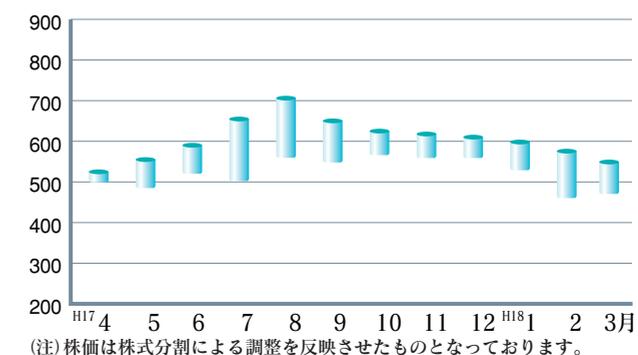


地域別株主数 (株主数比率)



(注)その他に保管振替機構名義株式が1名(0.08%)あります。

株価推移 (単位/円)



会社概要 (平成18年3月31日現在)

商号 サンメッセ株式会社  
 設立 昭和21年9月20日  
 資本金 1,236,114千円

主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。得意先の希望する印刷物を企画、デザイン、製版、印刷、製本のみならず、トムソン加工、製袋、表面加工等に至るまで設備を装備し一貫生産。またWebサイトやDVDなどのコンテンツ制作、デジタルアーカイブ作成等、マルチメディア製品の企画開発。

本社および事業所

- 本社 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1  
 支店 東京支店(東京都江東区)  
 赤坂支店(東京都港区)  
 大阪支店(大阪府中央区)  
 名古屋支店(名古屋市中区)  
 岡崎支店(愛知県岡崎市)  
 愛岐支店(愛知県一宮市)  
 岐阜支店(岐阜県岐阜市)  
 三重支店(三重県桑名市)  
 滋賀支店(滋賀県彦根市) 平成18年7月1日開設  
 研究所 サンメッセ情報館(岐阜県大垣市)  
 工場 本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)  
 系列会社 日本イベント企画株式会社(岐阜県岐阜市)

従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
719名	7名減	35.8歳	14.6年

(注)上記の従業員数には、他社への出向者10名、嘱託17名、パート168名は含まれておりません。

主要な借入先 (単位/借入額 百万円 持株数 千株 議決権比率%)

借入先	借入先の当社への出資状況		
	借入額	持株数	議決権比率
株式会社大垣共立銀行	600	857	4.98
株式会社十六銀行	300	198	1.15
株式会社三菱東京UFJ銀行	200	176	1.02
株式会社みずほ銀行	200	132	0.76

役員 (平成18年6月27日現在)

- 取締役会長※ 田中良幸  
 取締役社長※ 田中勝英  
 専務取締役※ 田中義一 営業本部長  
 取締役 浅野宣久 常務執行役員監査室長  
 取締役 北川松男 常務執行役員製造本部長  
 取締役 木村伸男 執行役員東京営業部長  
 常勤監査役 吉野鋭城  
 監査役 内藤保彦 税理士  
 監査役 藤塚清治 税理士  
 監査役 加藤文夫 税理士  
 ※は、代表取締役であります。

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 定期株主総会基準日 毎年3月31日(議決権行使株主確定日)  
 期末配当基準日 毎年3月31日  
 中間配当基準日 毎年9月30日  
 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
 \*公告掲載のホームページアドレス  
<http://www.sunmesse.co.jp/>  
 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
 中央三井信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号(〒460-8685)  
 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店  
 0120-78-2031(フリーダイヤル)  
 同事務取次所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店  
 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

(お知らせ)

- ・株券を喪失した場合は公示催告による除権判決を受けて再発行する取扱いでありますが、株券は新たに創設された「株券失効制度」により再発行を受けることとなります。お手続きの詳細につきましては株主名簿管理人あてご連絡下さい。
- ・住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、配当金振込指定に必要な用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル及びインターネットのホームページで24時間受付しております。  
 ○受付フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)  
 ○ホームページアドレス  
[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

# active (積極的な) posture (姿勢) jump (飛躍する)

当社は、平成18年度の会社方針を「積極姿勢で「飛躍の年」としております。

## ●ホームページの「IR情報」をリニューアル

平成18年2月1日より、株主・投資家の皆様が必要な情報に容易にアクセスできるようホームページの「IR情報」を見直しました。

従来の「IR情報」は、専門的な決算情報が中心の開示内容でありましたが、リニューアルにより、株式に関わる基本的な情報からIRリリース、IRカレンダー、お問い合わせ先などを新設し、よりわかりやすく使いやすいホームページとなるようにいたしました。

今後も、内容を充実させ、IRコミュニケーションの窓口として機能するIRページへと一層の強化を図っていきます。

<http://www.sunmesse.co.jp/>



人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

## サンメッセ株式会社

サンメッセ・ホームページアドレス  
<http://www.sunmesse.co.jp/>



JGA-EM1779  
本社・本社工場  
中工場・西工場



JGA-QM3742  
本社工場  
中工場・西工場



古紙含有率100%の再生紙を使用しています。



環境にやさしい大豆油インキを使用しています。



環境にやさしい水なし平版印刷を採用しています。